

濱田 綾音 HAMADA Ayane

専門分野	陶磁器制作	
学位	学士（造形）	2017年3月取得
	武蔵野美術大学 造形学部 工芸工業デザイン学科 卒業	
着任年月日	2020年4月1日	
教育理念・方法	<p>情報と経済、合理性に大きく影響される現代社会において、デザイン工芸の教育で必要なことは、リアルな感覚と身体性から生まれる実感にあると考えている。体験と実践を中心に授業を進めることや、歴史と日本という特異性の文化を大切に、新たな価値を想像できる人材を創出したい。</p> <p>以上の理念に基づいた実践的教育を助教の立場でサポートすること。</p>	
2020年度 研究成果	<p>作品発表、展覧会</p> <p>11月「豆皿展」ACギャラリー 東京 銀座</p> <p>1月「黒帯～爛酒とともに」福光屋丸の内店 東京 丸の内</p>	
2021年度 教育・研究目標	<p>多様な反応を示す素材を実際に触って敏感に感じることに、発見すること、考えることが、あらゆる物事に直面した時に、自らの頭を使って解決策を工夫する思考の訓練になり、新たな価値を創造できる人材の創出につながると思う。教えるだけでなく、自分の感覚で感じさせること、自らの頭を使って考えさせること、そこに誘導するために様々な方法を模索したい。自らの研究を深め試行錯誤する姿勢を見せることも重要なひとつである。具体的には、焼成方法、原料、釉薬、土、そこに施す象嵌などの組み合わせによる、表情の変化、発色を試験し、そこで得た結果を基本的には使えるものにまで昇華させることである。個人研究費は、原料、材料の購入、設備、作品発表のために使用する。</p>	